

新しい葛西臨海水族園 完成イメージ

海と接する機会を創出し、
海と人とのつながりを通して海への理解を深める水族園



令和6年5月より準備工事を開始しており、令和10年3月に完成する予定です。
その後、およそ半年の開園準備期間を経て、令和10年9月の開園を目指しています。

※ 工事の週間工程は、都ホームページ及び現地の工事看板をご確認ください。

新しい水族園の整備事業については
東京都建設局ホームページをご覧ください。



新しい水族園の魅力等を情報発信していく
ための特設サイトを開設しました。



外洋大水槽



海中を泳ぐダイバー視点で体感する
新水族園のシンボル水槽

サンゴ礁展示



世界有数の美しいライブコーラル大水槽

岩礁展示



人と海が出会う岩礁から
伊豆諸島・小笠原諸島の美しい海を観察

東京湾の展示

東京湾の歴史・文化や役割、楽しみ方を紹介

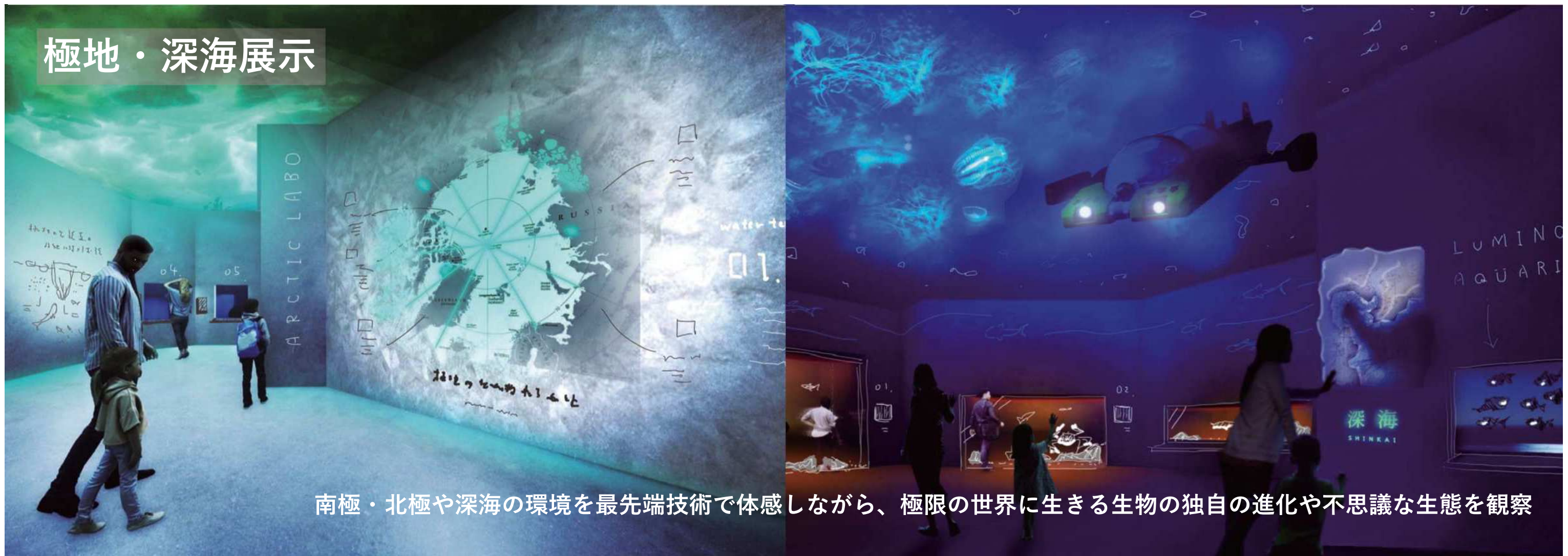


淡水生物の展示



東京の川の源流から河口に至るまでの場面を体系的に展示

極地・深海展示



教育普及エリア



レクチャーホール、キッズスペース、標本室等を大空間に集約し、賑わいを創出

ペンギン展示

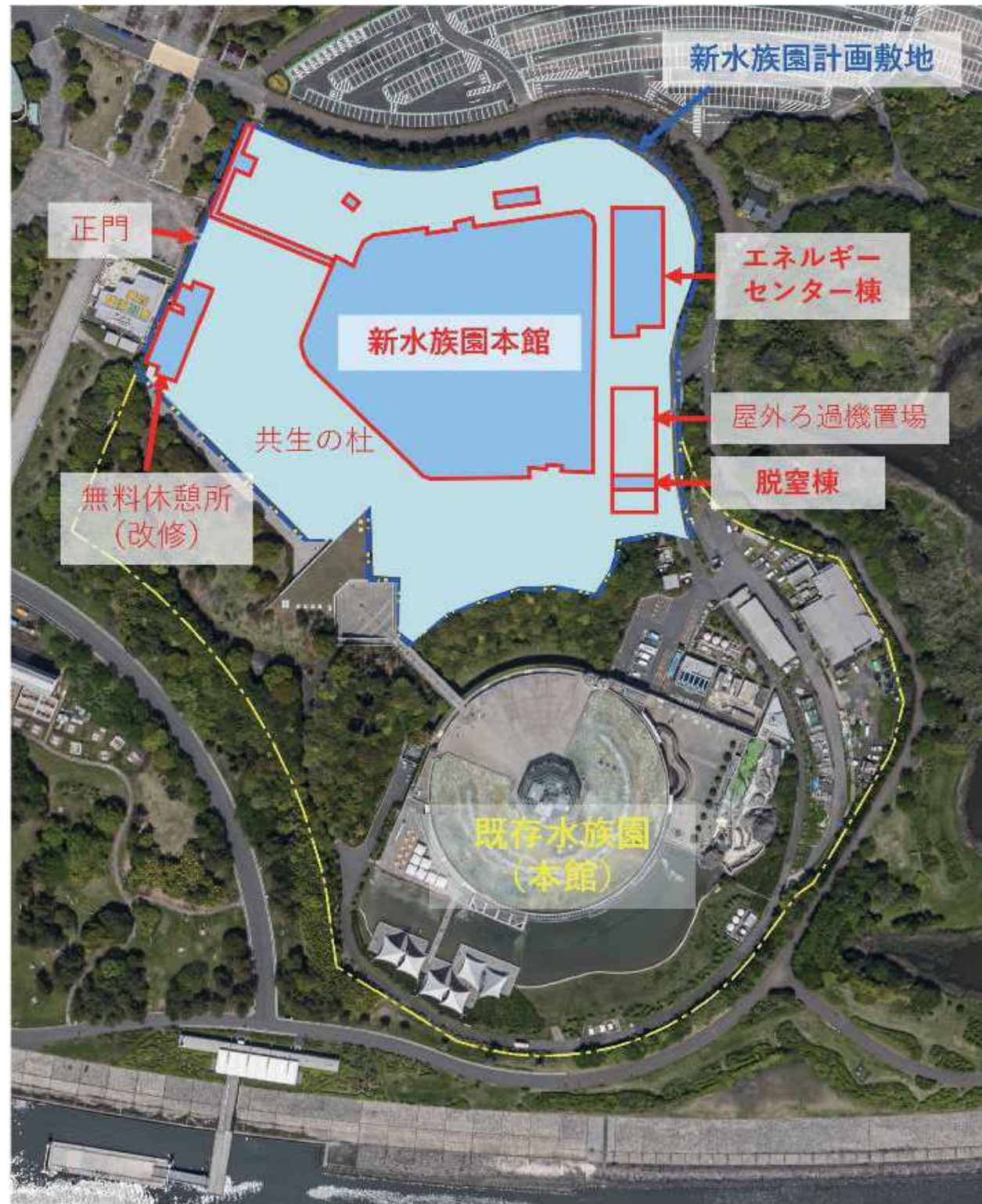
4種類のペンギン（オウサマ・ミナミイワトビ・フンボルト・フェアリー）
が生息する自然環境を再現



レストラン・カフェ

海と森をつなげる共生の杜とレストラン・カフェ

新施設概要 【施設位置及び主要建物】



【新水族園本館】

建築面積：約 10,900 m²

延床面積：約 20,900 m²

最高高さ：約 17m

階数：地下 1 階、地上 2 階

構造形式：鉄筋コンクリート造
一部鉄骨造

【エネルギーセンター棟】

建築面積：約 1,100 m²

延床面積：約 2,100 m²

階数：地上 2 階

構造形式：鉄骨造

【脱室棟】

建築面積：約 110 m²

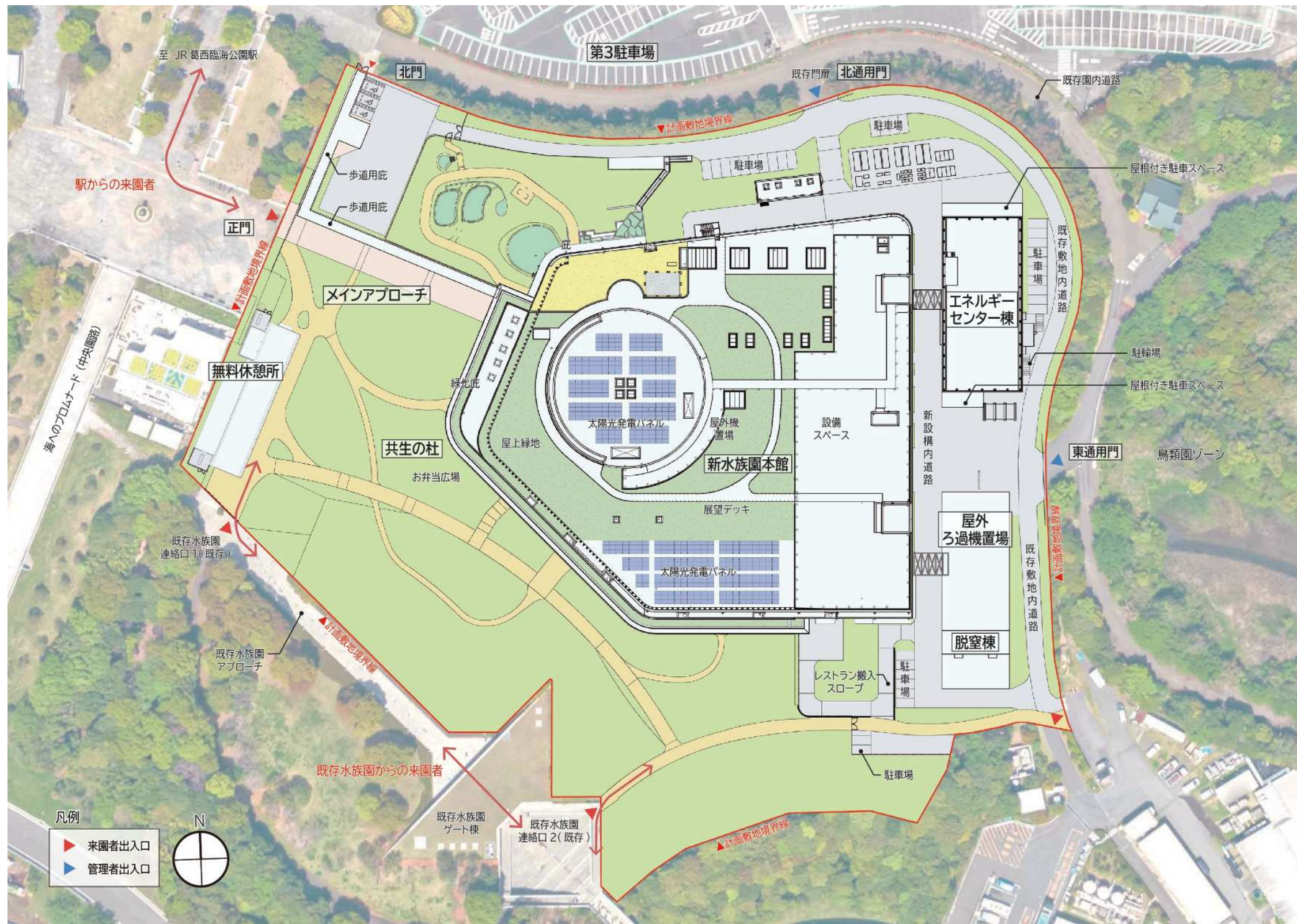
延床面積：約 110 m²

階数：地上 1 階

構造形式：鉄骨造

※今後変更の可能性があります。

新施設概要【配置計画】



※今後変更の可能性があります。

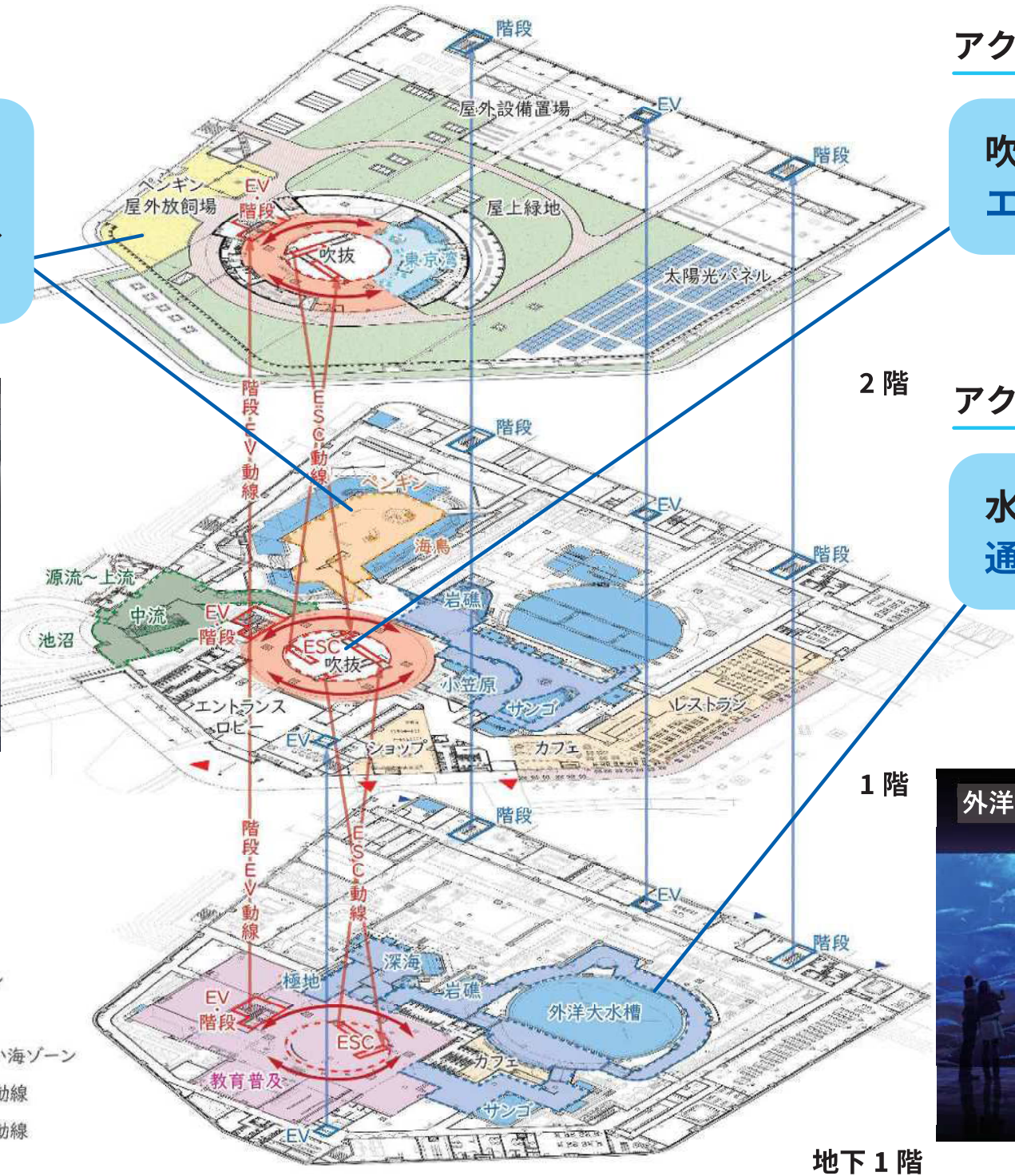
フロアマップと当初案からの主な変更点

鳥インフルエンザ対策

ペンギン飼育場を屋内化
※発生リスクが低い時期は、屋外（屋上）へ出られる仕様



- 凡例
- 河川ゾーン
 - 東京湾ゾーン
 - 海鳥ゾーン
 - 近い海、遠い海ゾーン
 - 来園者用縦動線
 - 管理者用縦動線



アクセスの向上

吹き抜け空間にエスカレーターを増設

2階 アクセスの向上

水槽裏に通り抜け観覧ルートを設置

1階 外洋大水槽



地下1階

※今後変更の可能性があります。

新葛西臨海水族園の開園に向けた取組

新水族園のオープンに向けて、3つのプロジェクトを進めています。新しい水族園を素晴らしいものにしていくために、都民の皆様、特に子ども達と一緒に考え、オープン前からワクワクする、そして誰もが楽しめる水族園を創っていきます。

サンゴプロジェクト



サンゴを育て
環境を学ぶ

おさかなプロジェクト



展示するお魚を
子ども達が決める

みんなで考える アクセシブルプロジェクト



エントランスのイメージ

日本一アクセシブルな
水族園を創る

これまでの取組と今後の取組

サンゴプロジェクト

これまでの取組



サンゴという生き物や、サンゴ礁に生息する生き物の魅力などを伝えるイベントを令和7年3月に開催しました。研究機関と協力し、サンゴ礁域での漁業や生き物の研究手法、サンゴを守る取組なども紹介しました。

今後の取組

サンゴについて学ぶプログラムや、サンゴの植付を行うイベントなどを計画しています。

おさかなプロジェクト

これまでの取組



「夢いっぱいのおさかなアート」ワークショップを令和6年11月に開催し、工事エリアの仮囲いに飾りました。参加者の「こんなおさかなを見てみたい」が表現された色とりどりのおさかなが、来園する皆様をお出迎えします。

今後の取組

おさかなアートワークショップや、新水族園で見てみたい生き物を一緒に決めるイベントなどを計画しています。

みんなで考える アクセシブルプロジェクト

これまでの取組



誰にとっても使いやすい施設になるよう、障がいのある方や有識者など様々な分野の方からご意見を伺うユニバーサルデザインワークショップを令和5年11月、令和6年11月に開催しました。視覚支援機器の試験導入も行いました。

今後の取組

引き続き幅広い方々からご意見をいただき、施設や展示内容などに反映させていきます。

葛西臨海水族園 ガラスドーム・プロジェクト

現在の葛西臨海水族園は保存し、未来へ引き継いでいきます



ガラスドーム・プロジェクトの取組

- ▶ 建築家をはじめとした有識者の方々などの協力を得ながら、保存・利用方法を検討
- ▶ ガラスドームへの愛着を表現するイベントなどを実施

葛西臨海水族園 ガラスドーム・プロジェクト

これまでの取組



ガラスドームへの愛着を表現するため
ガラスドームを舞台としたイベントを実施



「葛西臨海水族園における建築の可能性」をテーマに
建築家や構造家によるシンポジウムを開催

今後の取組

引き続き、建築家をはじめとした有識者の方々などの協力や都民の皆様の共感を得ながら
現在の葛西臨海水族園の保存・利用方法について検討を進めていきます。